

元気企業
訪問

キャタピラー・ジャパン
合同会社

世界最大の 油圧ショベルブランド 開発中枢担う明石事業所に 本社機能を集約

進化遂げる油圧ショベルを開発

同社は油圧ショベルを初めて国産化した三菱重工明石製作所と、米国キャタピラー社と三菱重工の合弁会社、キャタピラー三菱の2社の流れをくんだ会社で、1987年、新キャタピラー三菱として発足しました。2012年には、キャタピラー社が全株を所有し、その100%子会社となっています。

キャタピラー社は、「CAT」ブランドによる建設機械および産業機械、ディーゼルおよび天然ガスエンジン、並びに産業用ガスタービンエンジン分野における世界最大のメーカー。建設機械のうち油圧ショベル部門はシンガポールに本部を置き、油圧ショベル市場で世界のトップシェアを握っています。

その拠点の一つが同社の明石事業所で、全世界の油圧ショベルの生産拠点の開発センターとしての役割も担っています。油圧ショベルの出荷台数は累計40万台を突破。アームの先端に付ける多様なアタッチメントにより用途が広がるとともにデジタル化が進展し、より効率的に、正確にオペレーションできるように進化を遂げています。明石事業所で生産された油圧ショベルのうち約75%は輸出され、輸出先は多い時で90カ国に上ります。北米市場向け

は神戸港で、それ以外の国へは明石市の東播磨港でばら積み船に積まれ、各国に運ばれていきます。

本社機能集約で90人が明石へ

これまで同社は、人事・総務部門を持つ東京本社、油圧機器を生産する相模原事業所、そして油圧ショベルなどを製造する明石事業所の3カ所に分かれていました。「キャタピラー社の完全子会社となった2012年以降、全社員の約7割が集中する明石事業所へと機能を集約する動きが進んでいました」と代表執行役員明石事業所長の豊浦信海さん。そして、日本における拠点配置を再編し、本社にあった人事・総務部門や各事業所に分散していた経理、法務、情報システム部門などの本社機能を明石事業所に集約することにし

ました。これにより明石事業所の社員数はそれまでの1,400人に約90人が加わりました。

兵庫県では、東京への一極集中を是正し、地方創生を進めるため、産業立地条例を整備。県内への移転を後押しすべく、県内に住民票を移した従業員を含む新たな雇用に対する補助と法人事業税の減免で支援しています。その第1号として同社が認定を受けました。

一方、事業のさらなる進展を目指して地元の高校との連携を強化しています。「説明会や見学会を通して、グローバル企業の一翼を担う事業所の役割を伝えていきます。就職活動をする時



生産された油圧ショベルは世界へ輸出

に地元、明石にキャタピラー・ジャパンという会社があることを覚えてもらえれば」と豊浦所長は思いを語ります。

明石事業所には多くの外国人が働

いており、特に開発部門は英語が公用語として使われているそうです。「今後は、シンガポールをはじめキャタピラーの海外拠点でキャリアを積んでいく

社員をどんどん増やしていきたい」とも。世界で活躍できる社員を増やし、「明石から世界へ」のものづくりをさらに進めていく構えです。

会社概要
キャタピラー・ジャパン合同会社(明石事業所)

所在地 明石市魚住町清水1106-4
代表執行役員明石事業所長 豊浦信海

事業内容 各種建設機械の開発・製造
TEL 078-943-2111

支援メニュー講座

ひょうご・神戸投資サポートセンター

ワンストップで国内外の企業ニーズにお応えします

制度概要

ひょうご・神戸投資サポートセンターでは、兵庫県内に進出を検討している国内企業、外国・外資系企業の皆さまに、兵庫県の産業団地のほか、工場適地や遊休地、賃貸オフィス等の情報、さらには進出の際に必要な行政手続きから雇用、住宅、生活面に至るまでさまざまな現地情報等を提供しています。各事業主体や関係機関等への取り次ぎなど、企業ニーズに合わせたきめ細やかな支援を行うワンストップサービス機関として、皆さまの新たな事業展開をお手伝いいたします。

[具体的な支援内容]

- 1 産業用地情報の提供
- 2 研究開発用オフィス情報の提供
- 3 関連情報の提供
- 4 現地案内
- 5 許認可手続き情報の提供(外国・外資系企業向け)
- 6 ビジネス・生活関連情報の提供(外国・外資系企業向け)
- 7 専門アドバイザーによる無料相談(外国・外資系企業向け)

問い合わせは ひょうご・神戸投資サポートセンター TEL 078-271-8400
兵庫県ビジネスサポートセンター・東京 TEL 03-3230-2721